

千葉県中小企業団体レディース中央会

会長 川西 映子



【レディース中央会の沿革】

千葉県中小企業団体レディース中央会は県内女性経営者の地域や業種を超えた相互交流と研鑽を通して女性の経済的地位の向上を図ることを目的に、平成14年2月に設立された。

レディース中央会は女性経営者、経営者夫人、組合役職員等で構成され、女性の英知と感性を生かした各種研修会等を実施して会員の資質向上と情報交換、ビジネスチャンスの拡大を図ってきた。

川西映子氏は今年の総会で竹口茂子会長からバトンタッチして第二代目の会長に就任した。

【市原造園緑化（協）の概要と川西さんの横顔】

組合の前身は昭和45年に発足し



講習会、講師は竹口前会長

た市原緑を作る会で、昭和60年に協同組合法に基づいて法人化した。以来緑化事業の共同受注に努めることはもとより、組合は常に社会貢献と会員の技術向上を目指して活動してきた。この間、市原市のボランティア活動、小中学校の植木の手入れ、生涯学習フェスティバルや「食と緑の博覧会」等に参加してきた。また、会員の技術向上に対する取り組みも積極的で、JVを編成して大型工事も受注できるようにするなどその成果をあげてきている。

■千葉県中小企業団体レディース中央会

所在地	千葉市中央区千葉港4-2 千葉県中小企業団体中央会内
代表者	川西 映子
会員数	団体8、個人13（構成員173）

■市原市造園緑化（協）

所在地	市原市国分寺台中央1-4-2 市原建設センター内
代表者	若井 健治
会員数	22名（出資金660万円）

川西映子さんはご主人が代表取締役を務める川西造園土木（株）の取締役に、ご自身も造園関係の会社（株）ランデックを経営している。川西造園土木（株）は、千葉県内の業界では率先してISO9001を取得するなど経営革新に取り組んでいる。造園や土木の公共工事を主に「樹木医」の技術を生かした樹木治療なども行っている。又中国上海市において緑化技術の指導を通じて国際貢献にも努めている。

川西映子さんは日本女子大学の住居学科で建築の勉強をし、卒業と同時に結婚した。以来、建築士、土木施工管理技士、造園施工管理技士、管工事施工管理技士の資格を取得して、ご主人と二人三脚で今日の繁栄を築き上げてきた。

趣味は、二人共通で、各地方の特色ある民家を見たり、巨樹古木に出会う旅。休日にはご主人の運転で行き先を決めないでドライブするそうだ。日帰りで1日1000キロほどということもあったそうだ。愛読書は藤田嗣治に関する本。これは御祖父さんが、阿蘇山を案内したとき本人から貰った「猫の絵」があるためだ。（藤田画伯の最初の奥さんは市原市の出身）。

モットーは「笑顔で仲良く、全力投球」だそうだ。

ご家族は、2人の息子さんは既に独立（お孫さんは5人）。ご主人と2人で市原市に在住。昭和24年11月徳島県生まれ。



技術指導した中国上海市の新天地公園



千葉県 樹木治療